

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	6-	9	
事業名	斎苑管理運営経費	会計 一般	款 4	項 1	目 6
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施策	9-5 環境衛生対策の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	利用者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	施設の安定した稼働とサービス提供ができています。
事業内容	施設の安定した稼働と利用者サービスを行う。 東員町斎苑は昭和61年に竣工し、令和2年度で34年が経過した。東員町斎苑中長期整備計画及び東員町斎苑個別施設計画のもと、計画的な修繕と改修を行い施設の長寿命化を図る。 ・火葬炉等更新工事 令和3年度からの2ヶ年で、火葬炉（人体炉3基と動物炉1基）の更新を行う。 本年度は電気設備工事や機械設備工事、外構工事等を実施する			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
1	葬祭場・斎苑に対する満足度	96			%	↑	95	
2								
3								
4								
5								
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）			令和4年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			49,801	19,471			269,732	
財源 内訳	直接事業費A		48,217	17,887			267,818	
	うち一般財源		19,068	11,316			12,216	
人件費（千円）B			1,584	1,584			1,914	
内訳	一般職員（人・千円）		0.24	1584	0.24	1584	0.29	1914
	臨時職員（人・千円）		0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	斎苑中長期整備計画及び斎苑個別施設計画に基づき、火葬炉等更新工事を発注する。	③取組の課題	昭和61年に開設した斎苑は、既に35年が経過しており、火葬炉、電気設備等、随所に経年劣化が見られ、長寿命化に向け改修の必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	斎苑中長期整備計画及び斎苑個別施設計画に基づき、火葬炉等更新工事を2カ年計画で開始した。	④今後の改善計画	平成28年度に策定した、斎苑中長期整備計画及び斎苑個別施設計画に基づき、計画的に改修していく。